

生きる力を豊かにたくましく



あいほうぶだより

NO. 250 責任者
青山 茂次郎

あいほうぶ祭 4年ぶりの開催!

た、



七尾旅人さんと利用者さんのセッション

9月16日(土)に、あいほうぶ祭を開催する事が出来ました。一般の方にも参加してもらえたのは4年ぶりで、地域の皆さまとの大切な交流の機会となり、とても有意義な時間を過ごせたお祭りとなりました。



CCCカポエイラさんによる演舞

今回は、いつも開幕を盛り上げて下さる今年30周年の風雅さんの太鼓で始まり、藤白台保育園園児達による歌、ガンバ大阪チアキッズのダンス披露等があり、地域の方による舞台発表で大いに盛り上がりました。ま



藤白台保育園児さんによる合唱

歌手の「七尾旅人さんもお招きし、弾き語りを披露して頂きました。利用者の側まで来られ、一緒に歌うサプライズ演出などもあり、大きな声を出して歌う利用者の姿にほっこりしました。今回、地域で活躍されているボランティアの方々にもた



風雅さんの和太鼓でお祭りスタート

協力頂きました。久しぶりの再会となったボランティアさんの顔を見て、目をキラキラさせる利用者の姿が印象的でした。これからも、地域の皆さまとの繋がりを大切に、一緒に楽しめるような企画を考えていきます。ぜひその節には足をお運びください。ご参加、ご協力して下さいました皆さま、楽しい時間をありがとうございました。



ガンバ大阪チアキッズの皆さんによるダンス

あいほうぷ祭に参加されたボランティアさんの声

今回のお祭りでも喫茶や班、ゲームコーナーとたくさんボランティアさんが来てくれました。

数年ぶりのあいほうぷ祭りでしたが、キッチンカーが来ていたり、舞台のイベントも盛りだくさんで活気がありました。仲間のみなさんの表情がきらきらしてとても楽しそうにされていて、来年がすでに楽しみです！
ボランティアW



◆新人紹介◆



9月からピース班に新しい利用者が仲間入りしました！班の中では最年少の足立温子さんです。今まで学校卒業後、他事業所を2ヶ

所経てあいほうぷ吹田へ来られたこともあり、とてもたくましく、物おじしない姿に職員もビックリしています。初日から笑顔をとくさん見せて下さり、車いすですべて自走して居室内を動き、積極的に利用者に声をかけたりされています。これから利用者との輪がもっと広がり、色々な経験をするなかで、より充実した日中生活が送れるように職員もサポートさせていただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

11月8日 あおぞら市開催予定

毎週のパン販売に一昨年タブレットでレジ機能が使えるレジを購入し、あおぞら市でも活用することで利用者の皆さんが主体的に販売活動ができる良い機会になりました。商品のバーコードを読み取り、会計をしてお客様にレシートを渡す試みは利用者の方たちにとって新しい経験になっています。また、トークンエイドというボタンを押すだけで録音した音が出せる機器を積極的に活用し、通りすがりの方々に声を掛けている様子も見られました。次回の販売に向けて、以前たんぽぽ班が担っていたさをり織を今は宇宙班の皆さんも携わるようになりました。利用者の方が色々配色を考えておられ、これから配色のバリエーションが増えることと思

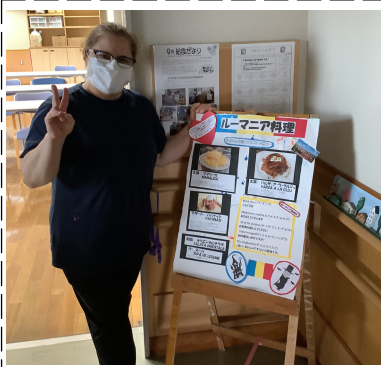
います。また、オータム班の皆さんは、藍染の新品の販売を計画するなど準備を進めています。

寒さも気になる頃かと思しますので季節にあった開催が出来るよう検討していこうと思っています。



とまどいながらもレジを使う利用者

みなさんはルーマニア料理を食べたことがありますか？



あいほうぷにはルーマニア出身のポポビッチ・マリアさんが調理員の1人として働いています。

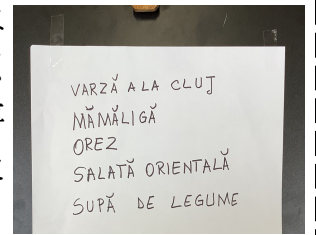
ルーマニアはハンガリーやブルガリア、そしてウクライナ等多くの国に囲まれています。ロシアやトルコにも近く、歴史的にも文化的にも色々な地域の影響を受けています。そのため、料理も色とりどりの特色を持っています。黒海に面しているため、日本のように魚料理もたくさんあり、マスのような川魚料理もあります。この他マッシュルームや日本の様に旬の野菜を使った料理もたくさんあります。またヨーロッパらしく、トマトやハーブ、ワインも使うことが多く、バラエティーにとんだ料理があります。このような食事はたくさんの人と



のコミュニケーションの重要なツールの1つとして私たちの生活を彩ってくれています。今回、すぷりんぐ班からのリクエスト

トメニューでルーマニアを紹介できる機会をもらって、本当にうれしく思っています。

あいほうぷでは調理員の一員として毎日、楽しく働いています。新しい事を毎日発見して、勉強にもなっています。特に、色々な方に料理を楽しんでもらうために提供している介護食は本当に意味があり、勉強になります。ルーマニアにはまだこの様な物は普及していないと思います。ここで学んだ事を将来、母国でも広げたいと思います。



小高さんと一緒に考えよう



今回は図書館で借りた本で学んだ「国境なき医師団について」を紹介します。「平和」の事を常に気にかけている小高さんは彼らを本当に尊敬されています。

国境なき医師団は、紛争や災害、そして貧困などにより命の危機に瀕する人々に医療を提供する、民間の非営利・人道援助団体です。設立は1971年でフランスの医師とジャーナリストのグループによって作られた非政府組織(NGO)で、世界最大の国際的緊急医療団体で1999年には国際援助分野における功績でノーベル平和賞を受賞し日本を含む世界中に38の事務局があります。日本では1992年

に結成され、兵庫県の淡路大震災(1995年)や東日本大震災(2011年)で被災地での診療や情報収集活動にあたりました。

彼らは医療提供だけでなく、情報収集をはじめとする様々な事を行なっています。その活動の原則として、1.「第一に医療援助活動」2.「証言活動」3.「医療倫理の遵守」4.「人権の擁護」5.「独立性への配慮」6.「基本原則：公平性」7.「中立の精神」8.「義務と透明性」9.「ボランティアからなる組織」10.「メンバー一人ひとりが動かす組織」を挙げています。SDGsの3つ目の目標の「全ての人の健康と福祉を」に寄与しているだけでなく、平和やパートナーシップにも寄与しています。この様な活動を知った小高さんは、ますますこの医師団に興味をもったようでした。

プール・介助浴室を開放しています

土曜日、日曜日にあいほうぶ吹田の温水プールと介助浴室を開放しています。プールや入浴は、リハビリにも効果的です。ぜひご利用ください。

利用できる方 ・吹田市内にお住まいの障がい者手帳をお持ちの18歳以上の方と介助者。プールは18歳未満の方も利用できますが、18歳以上の介助者の同伴が必要です。

利用時間 ・10時から16時まで

注意事項

プール利用について

- ・混雑を避ける為に定員を設けています。
- ・スイミングキャップが必要です。
- ・受付で障がい者手帳を提示し、手続きをしてください。
- ・採暖室と更衣室(シャワー室を含む)の利用は原則1組に限ります。観覧者はマスクをして、廊下からご覧ください。

介助浴室利用について

- ・介助浴室の利用は、予約制で、原則前日の17時までです。当日午前10時までのご予約で13時以降のご利用ができます。原則1時間に1組。
*ボディソープ、シャンプーはご持参ください。

多目的ホール・会議室が利用できます(18時~22時、土日9時~22時)

障がい者団体あるいはその支援団体、ボランティア団体などの活動の場、交流の場として利用できます。(事前登録が必要)

編集後記

十月に行われる私の地元愛知県豊田市の伝統的なお祭りに拳母(ころも)祭りというものがありません。四百年前から続いている伝統的な祭りで八輦の山車の勇敢な引廻しが特徴です。四く五トンとも言われる山車が紙吹雪が舞う中で、壮大に曳きまわされる様子は、他では見られな

いお祭りとなっています。私も誇りに思っています。また、毎年このお祭りは私の実家の恒例行事ともなっていて、子供の時から親戚が集まるこの祭りを楽しみにしていました。大阪に出てきてからはこの時期になると祭りが分で盛り上がった母からもうすぐ祭りだよと連絡があります。

子供の頃から山車を曳いてきた私にとって、大阪に出て来てから地元を思い出すかけがえのないひと時となっています。皆さんにも何か特別な思い入れのあるお祭りがあるでしょうか。A



吹田市立障害者支援交流センター あいほうぶ吹田

(吹田市指定管理者 社会福祉法人 さつき福祉会)

吹田市千里万博公園12-27

生活介護事業 06-6816-6895 短期入所事業 06-6816-6897

メール i-staff@s5.dion.ne.jp ファックス 06-6816-6898

ホームページ <http://satuki-fuku.sakura.ne.jp/ihope/index.htm>